

平成 25 年 12 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社ブイキューブ
 代表者名 代表取締役社長 間下 直晃
 (コード番号：3681 東証マザーズ)
 代表取締役副社長
 問 合 せ 先 管 理 部 門 長 高 田 雅 也
 (TEL. 03-5768-3111)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 25 年 12 月 10 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては、別添のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円・%)

項 目	決算期	平成 25 年 12 月 期 (予想)			平成 25 年 12 月 期 第 3 四 半 期 累 計 期 間 (実績)		平成 24 年 12 月 期 (実績)	
			構成比	対前期増減率		構成比		構成比
売 上 高		2,590	100.0	29.2	1,769	100.0	2,005	100.0
営 業 利 益		313	12.1	198.0	129	7.3	105	5.2
経 常 利 益		304	11.8	184.6	123	7.0	107	5.3
当 期 (四 半 期) 純 利 益		222	8.6	90.5	89	5.1	116	5.8
1 株 当 たり 当 期 (四 半 期) 純 利 益		67 円 43 銭			28 円 85 銭		38 円 21 銭	
1 株 当 たり 配 当 金		0.00 円			—		0.00 円	

- (注) 1. 平成 24 年 12 月 期 (実績) 及び平成 25 年 12 月 期第 3 四 半 期 累 計 期 間 (実績) の 1 株 当 たり 当 期 (四 半 期) 純 利 益 は 中 期 平 均 発 行 済 株 式 数 に よ り 算 出 し て お り ま す 。 平 成 25 年 12 月 期 (予 想) の 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 は 公 募 予 定 株 式 数 (600,000 株) を 含 め た 予 定 中 期 平 均 発 行 済 株 式 数 に よ り 算 出 し、オ ー バ ー ア ロ ッ ト メ ン ト に よ る 売 出 し に 関 す る 第 三 者 割 当 増 資 分 (最 大 175,100 株) は 考 慮 し て お り ま せ ン。
2. 当 社 は 平 成 25 年 8 月 23 日 付 で 1 株 に つ き 100 株 の 割 合 で 株 式 分 割 を 行 い ま し た が、前 連 結 会 計 年 度 (平 成 24 年 12 月 期) の 期 首 に 当 該 株 式 分 割 が 行 わ れ た と 仮 定 し、1 株 当 たり 当 期 (四 半 期) 純 利 益 金 額 を 算 定 し て お り ま す。

以 上



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月10日

上場会社名 株式会社ブイキューブ 上場取引所 東
 コード番号 3681 URL http://jp.vcube.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)間下 直晃
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役副社長 (氏名)高田 雅也 (TEL)03(5768)3111
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	1,769	—	129	—	123	—	89	—
24年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 90百万円(—%) 24年12月期第3四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	28 85	—
24年12月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 平成24年12月期第3四半期は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、平成24年12月期第3四半期に係る記載及び同期間との比較は行っておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権の残高がありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
 3. 当社は平成25年8月23日付で1株につき100株の割合で株式分割を行いました。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	2,451	1,228	50.1
24年12月期	2,095	674	32.2

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 1,223百万円 24年12月期 670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	—	—	0.00	0.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,590	29.2	313	198.0	304	184.6	222	90.5	67 43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期3Q	3,696,500	24年12月期	3,056,600
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	—	24年12月期	—
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期3Q	3,116,201	24年12月期3Q	—

(注) 当社は平成25年8月23日付で1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(5) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末の政権交代後に円安・株高が進み、緩やかな回復基調となり、国内生産に持ち直しの動きがみられるなど、景気回復への期待が出てきました。

このような環境のなかで、当社グループは、「いつでも」・「どこでも」・『だれでも』使えるビジュアルコミュニケーションサービスをコンセプトとして、Web会議サービス、オンラインセミナーサービスをはじめとする商品開発に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間においても、引き続き「クラウド」型を中心とした「V-CUBE」各サービスの提供を積極的に進めてまいりました。

シンガポールに設けた開発拠点も本格稼働しており、顧客のニーズに対してスピーディーに対応可能な開発体制の強化も進めております。「V-CUBE セミナー」では、利用画面の刷新や、テキストチャットやアンケート機能を利用した双方向コミュニケーションの強化、高画質対応の強化など、大規模なバージョンアップを行い、その後もユーザーの声を反映したサービスの開発を続けております。

海外については、マレーシア、インドネシアの営業拠点の整備を進めるとともに、新たに中国、シンガポールの営業拠点を連結子会社とし、積極的な海外展開を進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,769,489千円、営業利益129,522千円、経常利益123,597千円、四半期純利益89,895千円となりました。

なお、当社グループは、ビジュアルコミュニケーション事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(国内「クラウド」型サービス)

当第3四半期連結累計期間においては、引き続き、「V-CUBE」各サービスの「クラウド」型による提供を推進しており、全国に広がる代理店販売網を活用しつつ、国内市場の開拓を行ってまいりました。OEMによるサービス提供など、パートナーとの協業体制強化を積極的に進めてまいりました。

国際データセンター間専用ネットワークである「Global Link」オプションでは、対応国にインドを追加するなど、国際間のコミュニケーションの必要なグローバル企業等が、より快適な回線環境で利用できるよう、積極的なサポートを進めてまいりました。

また、平成25年7月には、サイボウズ株式会社の提供するグループウェア「サイボウズ Office」、「サイボウズ ガルーン」と「V-CUBE ミーティング」との連携オプションの販売を開始し、顧客の利便性を向上させるサービス強化に努めてまいりました。

平成25年8月には、株式会社セールスフォース・ドットコムが提供するクラウド型顧客管理サービス「Salesforce」と連携し、お客様へのカスタマーサポートや営業活動の中で活用ができる「V-CUBE セールス&サポート for Salesforce」を提供開始いたしました。企業は、「Salesforce」上の顧客管理画面から同サービスを利用して、お客様との資料やPC画面を共有したコミュニケーションが可能になり、お客様側に専用アプリケーションのインストール等の事前準備の負担をかけることなく、円滑で効率的な営業活動やサポートを実現することが可能になっております。

これら施策と併せ、国内におけるクラウドサービス認知向上により「オンプレミス」型から「クラウド」型へ移行する顧客が出てきていることもあり、国内「クラウド」型サービスの売上高は1,435,343千円となりました。この結果、国内売上における「クラウド」型売上比率は85.9%となりました。

主な国内「クラウド」型サービスの売上高は以下のとおりです。

「V-CUBE ミーティング」売上高 766,973千円

「V-CUBE セミナー」売上高 431,279千円

(国内「オンプレミス」型サービス)

当第3四半期連結累計期間は、全国の代理店網も活用しながら、引き続き、教育機関・官公庁・金融機関を中心にセキュリティポリシー上、「クラウド」型サービスを導入することが難しい企業への営業活動を進めてまいりました。

以上の結果、国内「オンプレミス」型サービスの売上高は167,928千円となりました。

(国内その他)

タッチパネル型PCとWeb会議がセットになったオールインワンモデルの「V-CUBE センター」や、ビジュアルコミュニケーションに関わるハードウェア（ウェブカメラ、ヘッドセット、エコーキャンセラー付きマイク等）の販売を含む、国内その他売上高は67,219千円となりました。

(海外事業)

当第3四半期連結累計期間は、マレーシア、タイ、及び中国において市場が拡大したことから、米国を加えた海外売上高は98,998千円となりました。

順調に売上高が推移した結果、継続的な開発力強化に伴うソフトウェア償却費の増加や、販売力強化を図った人件費の増加、認知度向上による顧客層の拡大を睨んだ広告販促費などの費用の増加を賄い、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、129,522千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,451,189千円となり、前連結会計年度末に比べ356,024千円増加いたしました。これは主に、サービス用ソフトウェアを主とする無形固定資産の増加210,442千円、売掛金の増加141,974千円、及び現金及び預金の増加73,599千円等によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,222,625千円となり、前連結会計年度末に比べ198,379千円減少いたしました。これは主に、新株予約権付社債の新株予約権行使による減少299,952千円によるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,228,563千円となり、前連結会計年度末に比べ554,404千円増加いたしました。これは主に、新株予約権行使による資本金の増加231,714千円及び資本剰余金の増加231,714千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は50.1%（前連結会計年度末は32.2%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期における、当社を取り巻くインターネット関連市場は、スマートフォンやタブレット端末等のモバイル端末の普及が急速に進むとともに、自治体や企業内外でのクラウドサービスの認知度及び利用度が向上しております。

このような環境のなか、当社グループは、全国に広がる代理店網の活用やOEMの積極展開、拠点増加による海外展開のさらなる加速化など、引き続き業績の拡大を進めております。

特に、主に月々の定額利用料にて収入が構成されており、売上の増加に対してデータセンターや回線費用などの直接原価の増加影響の少ない、収益逡増型モデルである「クラウド」型サービス売上の増加により、収益性の向上及び持続的な成長を目指しております。また、アジア地域統括持株会社兼グローバル基準のサービス開発会社として前連結会計年度にシンガポールに設立したV-cube Global Services Pte. Ltd. を中心とした積極的な海外展開により、マレーシア、タイ、中国等、アジア地域での売上も増加しております。

以上の結果、平成25年12月期の業績予想につきましては、売上高2,590,961千円（前年同期比129.2%）、営業利益313,446千円（前年同期比298.0%）、経常利益304,991千円（前年同期比284.6%）、当期純利益222,434千円（前年同期比190.5%）を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	329,430	403,030
受取手形及び売掛金	228,360	370,334
その他	122,050	118,784
貸倒引当金	△916	△2,095
流動資産合計	678,925	890,054
固定資産		
有形固定資産	121,817	118,942
無形固定資産		
ソフトウェア	970,394	980,697
のれん	—	110,725
その他	123,276	212,690
無形固定資産合計	1,093,671	1,304,113
投資その他の資産		
敷金及び保証金	68,566	68,905
長期未収入金	86,113	86,113
その他	131,195	69,110
貸倒引当金	△86,590	△86,297
投資その他の資産合計	199,285	137,831
固定資産合計	1,414,774	1,560,888
繰延資産	1,464	246
資産合計	2,095,164	2,451,189
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,470	38,023
短期借入金	222,000	329,500
1年内返済予定の長期借入金	145,284	181,306
賞与引当金	5,494	3,492
1年内償還予定の新株予約権付社債	299,952	—
その他	331,359	306,396
流動負債合計	1,045,560	858,717
固定負債		
長期借入金	321,993	330,760
その他	53,452	33,148
固定負債合計	375,445	363,908
負債合計	1,421,005	1,222,625

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	400,000	631,714
資本剰余金	186,120	417,834
利益剰余金	84,110	174,006
株主資本合計	670,231	1,223,554
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,927	5,008
その他の包括利益累計額合計	3,927	5,008
純資産合計	674,158	1,228,563
負債純資産合計	2,095,164	2,451,189

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,769,489
売上原価	613,548
売上総利益	1,155,941
販売費及び一般管理費	1,026,418
営業利益	129,522
営業外収益	
受取利息	932
為替差益	17,305
その他	3,158
営業外収益合計	21,396
営業外費用	
支払利息	16,786
持分法による投資損失	5,697
その他	4,837
営業外費用合計	27,322
経常利益	123,597
税金等調整前四半期純利益	123,597
法人税、住民税及び事業税	20,225
法人税等調整額	13,476
法人税等合計	33,701
少数株主損益調整前四半期純利益	89,895
四半期純利益	89,895

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	89,895
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	1,080
その他の包括利益合計	1,080
四半期包括利益	90,976
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	90,976
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間において、当社は、新株予約権が行使されたことにより、資本金が231,714千円、資本剰余金が231,714千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が631,714千円、資本剰余金が417,834千円となっております。

(5) セグメント情報等

当社グループは、ビジュアルコミュニケーションサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。